

医療安全管理部



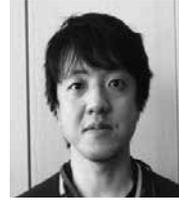
副院長
医療安全管理部長
白神 幸太郎



医療安全管理副部長
阿部 充



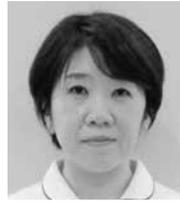
医療安全管理係長
吉田 活子
(2023年3月31日まで)



副看護師長
中野 達也
(2023年2月28日まで)



訴訟専門職
栗谷 圭一
(2023年3月31日まで)



医療安全管理係長
浅井 真由美
(2023年4月1日から)



副看護師長
増田 友香
(2023年3月1日から)



訴訟専門職
池田 健太郎
(2023年4月1日から)

患者安全の確保、医療の質の担保と向上への取り組みは、急性期基幹病院である当院において最も重要な課題であり、安全文化の醸成は医療教育機関としての責務である。これらの課題、責務を達成するために医療安全管理部が活動している。院内に医療安全管理室を設置し、各部署に医療安全推進担当者（リスクマネージャー）において医療安全管理体制を整備している。医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議などの定例会議を主催するとともに、随時オカレンス症例検討会、ハイリスク診療検討会などを開催している。また、電子化した報告システムによりインシデント・アクシデント事例を収集し、個々の事例に対応するだけでなく、マニュアル等の定期的な見直しを行い、医療安全管理体制の強化充実を図っている。院内で共有すべき情報については積極的に情報発信を行い、スタッフ教育にも力を注いでいる。医療事故調査制度より、当院で生じた死亡症例についてはモニタリングし、迅速かつ適切に事例の収集と検討が可能となるシステムが整備された。これらの取り組みを通じて、医療に伴って発生する様々な危険や有害事象をモニターし、調査、分析して医療に反映させること、重大な有害事象に対して病院をあげて迅速に対応すること、スタッフ教育や院内システムの改善に役立てることを目標としている。

1. 医療安全管理体制

1) 組織図……医療安全管理マニュアル 参照

2) 構成メンバー

医療安全管理部長 1名

医療安全管理副部長 1名

医療訴訟専門職 1名

医療安全管理係長 1名

看護部医療安全担当副看護師長：1名

医療安全推進担当者（リスクマネージャー）各部署から1名 計61名

2. 医療安全に関する日常活動

- 1) 医療安全に関する院内の情報収集及び実態調査（定期的な院内の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検）
- 2) マニュアルの作成及び点検と見直しの提言等
- 3) インシデント・アクシデントレポートの収集、保管、分析、具体的な改善策の提案、分析結果の現場へのフィードバックと集計結果の管理
- 4) 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
- 5) 医療安全に関する職員への啓発、広報
- 6) 医療安全に関する教育研修の企画・運営
- 7) 医療安全対策ネットワーク整備事業に関する報告
- 8) 医療安全管理に係る連絡調整に関すること

3. 業務実績

1) 医療事故に関する会議開催状況（2022年度）

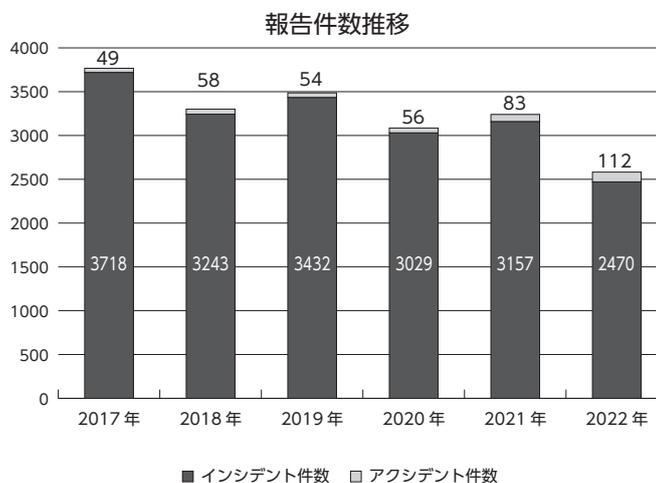
- | | |
|----------------|-----|
| （1）拡大医療安全管理委員会 | 0件 |
| （2）医療事故本部対策会議 | 0件 |
| （3）オカレンス事例検討会議 | 15件 |
| （4）ハイリスク診療検討会議 | 13件 |

2) マニュアル、ガイドライン等の作成・改訂

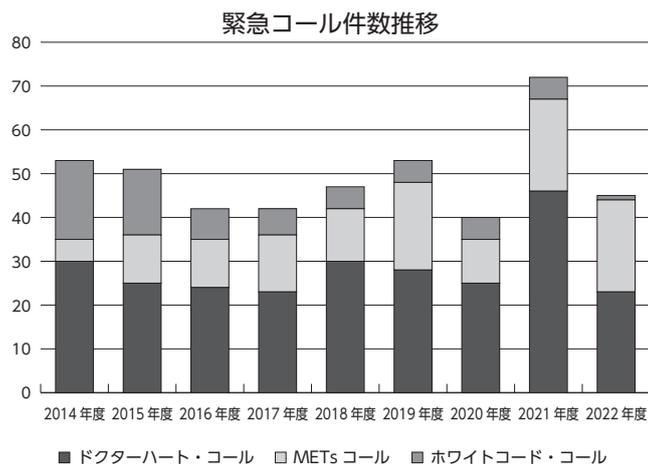
- ・ 中心静脈カテーテル運用マニュアル（2012年）
- ・ ロヒプノール院内使用指針（2014年）
- ・ 院内転倒時の頭部・顔面打撲対応（2019年改訂）
- ・ 深部静脈血栓症・肺塞栓症の予防対策ガイドライン（2019年改訂）
- ・ 抗血栓薬の適正使用と周術期の取り扱いに関するガイドライン（2021年改訂）
- ・ 血糖測定・インスリン指示に関するテンプレート整備（2021年改訂）
- ・ 患者用パンフレット：転倒転落予防のご協力をお願い（2021年作成）
- ・ 全部署の救急カートの新規購入と救急カート内容・配置の統一（2022年）
- ・ 医療安全管理マニュアル（2020年改訂）
- ・ 医療事故防止対策マニュアル（2021年改訂）
- ・ 医療安全管理マニュアルと医療事故防止マニュアルを改定合冊（令和5年3月）

3) インシデント・アクシデントレポート収集

- ・ 2022年度報告件数 2582件
- インシデント 2470件
(レベル0～レベル3a)
- アクシデント 112件
(レベル3b～レベル5)



- 4) 2022年度 緊急コール件数
 ドクターハートコール：23件
 METsコール：21件
 ホワイトコードコール：1件



5) 医療安全に関する活動及び情報提供

- ・医療安全管理委員会 1回/月 計12回
- ・リスクマネージャー会議 1回/月 計12回
- ・診療科長会議、医局会、管理診療会議での情報提供
- ・事故事例の情報発信等
- ・各部門カンファレンス・検討会等参加

6) 医療安全に関する教育研修

(1) 医療安全研修会

第1回 令和4年7月21日

重症心身障害児(者)の特徴と関わり

国立病院機構やまと精神医療センター

副院長 谷口謙先生

院内認定頼人強度行動障害者看護師 細田実先生 橋本みどり先生

第2回 令和5年1月19日

カルテ記載について考える—多職種によるチーム医療の記録で情報共有しよう—

国立病院機構姫路医療センター元教育研修室長

研修オフィス shima代表 嶋崎明美先生

(2) 医療事故防止研修会

第1回 膀胱留置カテーテルの挿入と管理：令和4年6月21日

7) 医療安全に関する講義

新採用者研修、看護助手等採用時研修、幹部看護師任用候補者研修、IVナース講義、看護学校講義、医療安全管理研修、スペシャルメ-ディカルクラーク研修 等

8) 医療安全対策地域連携加算の相互評価

加算1：京都市立病院 令和4年11月4日

加算2：蘇生会総合病院 令和4年12月7日